

# 新しい目黒区政をつくる会

2024 February

号外



目黒区総合庁舎

MEGURO

## 新しい目黒区政をつくる会とは

目黒区の発展と区民生活の向上を図り、あわせて会員相互の親睦を深めることを目的とした有志で立ち上げたグループです。これからの目黒区を新しい目黒区政をつくる会と共に活動を通して考えてみませんか？興味のある方はお気軽にご連絡ください。ご意見、ご感想もお待ちしております！

■編集・発行元 新しい目黒区政をつくる会  
〒153-0053 目黒区五本木1-15-17



いざという時  
守れるの？

# 伊藤ゆう 都議に聞く！

目黒区の  
避難所対策の  
現状は？

区庁舎の  
電源確保に  
問題！？

## 目黒の防災と安全

### 防災に関して 目黒区の現状を 調べてみました。

関東大震災から100年目です。最悪の想定と最善の準備で、23区で一番災害につよい街「めぐろ」をつくっていく必要があります。そのためには、現時点での目黒区の防災力を正確に分析しなければいけません。そこで、意外と知らない目黒区の防災についてお知らせいたします。

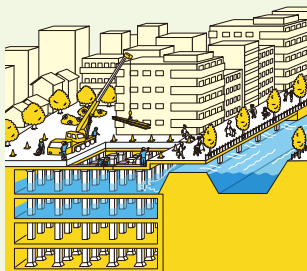


✓ **目黒川が危ない！**  
環七に新しい調節池で  
水害を防ぐ

→ **できます！** 😊

目黒川には中目黒と五反田の2箇所に調節池が完成しています。中目黒の舟入場の地下には10mを超す柱が立ち並び、地下神殿のような空間を創ることで、5万トンの雨水を溜め込む力を持っています。しかし、最近の豪雨は1箇所に集中的に降り注ぐ時があるため、**上流域で溢水してしまう危険**が高まっていました。**そこで、私は目黒川を所管する小池百合子知事に「目黒川上流に新しい調節池を」と要望し、昨年、事業化が決定しました。**環七の地下にトンネル式の穴を掘って、調節池にするという大工事です。

まだ時間はかかりますが、完成に向けて、都の予算獲得を引き続き行ない、都と区の連携を進めていきます。



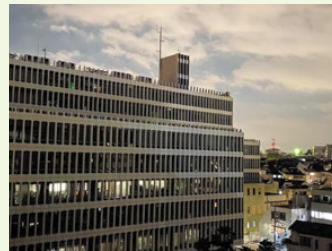
✓ **区役所の電源が危ない！**  
拡張工事で1週間の  
電源確保を

→ **ありません！** 😞

震災時に、区役所が「ブラックアウト」したらどうなる？目黒区は、72時間は非常用電源によって電力を維持できるとしていますが、多くの電子機器の使用を制限する必要があるそうです。**区が電源を消失した場合、都や警察消防などの円滑な連絡手段を失い、大混乱に陥ります。**

私は5年前に、23区の区役所の非常用電源の拡張工事の必要性を都議会に訴え、**都の予算で区の工事を支援すべきと要望しました。その結果、都は「区庁舎の非常用電源設置支援」を予算化。中野区など8つの区が都の予算で工事を進めています。しかし、目黒区はというと、この予算の活用実績ゼロ。**

すぐにでも、目黒区は工事を検討すべきですね。



# まだまだ、目黒区の現状について調べてみました。

## ✓ 駒沢通りが 危ない! 電柱の地中化を 急ぐべき

→できます!

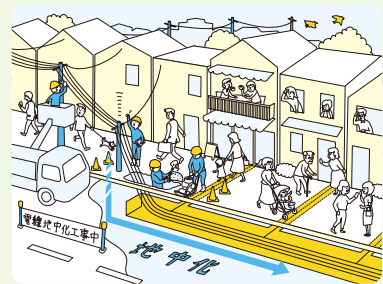


山手通りの電柱の地中化はほぼ完成しました。しかし、同じく、災害時に緊急車両が優先的に通行する駒沢通りの電柱は地上に立っただけです。地震の直後に、一本でも電柱が倒れると、救急車は通行不可能。助かる命も、電柱一本のせいでは助かりません。

そこで、私は都に「緊急輸送道路である駒沢通りの電柱の地中化を早期に事業化すべき」と強く要請しています。東日本大震災の時に明らかになった通り、倒れた電柱は復旧の最大の障害になります。

すでにこの4年間で、私は目黒区内の都道の

電柱の地中化率を26%から44%へと前進させてきました。しかし、区道については、電柱の地中化が大幅に遅れており、電柱を避けるために車道にはみ出してしまいうべいカーをよく見かけます。安全な街づくりのために、都と区が連携し、電柱の地中化を急ぐべきです。



## ✓ 小学校の 防災ずきんが 危ない! ヘルメット化を 進めるべき

→できます!



小学校の防災ずきん、実は、戦時中の防空ずきんの名残だと言われています。ご存知でしたか?

たしかに「ずきん」の場合、火の粉が飛んできた時に顔を守る利点がありそうです。しかし、市販されている安価な防災ずきんには、燃えやすいワタが入っているものもあり、かえって危険であると国の機関からも指摘されています。また、戦時中とは違い、現在の学校で地震が襲ってきた時に子どもたちにとって危険なのは頭上からの落下物、コンクリート片などですから、ヘルメットの方が安全だと言えそうです。学校の先生

もヘルメットですし、実は、防災頭巾だった衆議院も1987年にヘルメットに変えたそうです。国会議員もヘルメットなのに、戦時中の名残で子どもの安全が取り残されている現状。すぐにも目黒区は折り畳み式ヘルメットに変えていくべきです。



## ✓ 避難所の電源が 足りない! 公共施設に太陽光 パネルの設置を

→ありません!



地震から命からがら避難所にたどり着いたら何をしたいでしょうか。家族と連絡、友人の安否確認そして災害情報の収集ではないでしょうか?

でも、その時、避難所に電源があるとは限りません。停電で、体育館は凍える寒さかもしれません。そのような時に、もしも小中学校の体育館の屋上に太陽光パネルがあったらどうでしょうか。最低でも携帯の充電ができる。多少、ヒーターの蓄電ができるかもしれません。

しかし、目黒区の小中学校の体育館の屋上に太陽光パネルが設置されているのは3箇所だけ

です。しかも非常用電源として使える設計になっているのか区に確認したところ、調査しないと分からないそうです。

すでに、区が学校の屋上に太陽光パネルを設置する場合、費用の4分の3を国と都が出してくれる仕組みがありますので、これらを活用して太陽光パネルを設置するべきです。



機関紙

### 新しい 目黒区政 をつくる会

2024 February 号外

### 伊藤都議の 活動発信中!

✕ @yuuito1202

📷 @itoyuu1202

📘 @itoyuu1976

各SNSを  
Check!



紹介動画  
配信中!

伊藤都議の  
プロフィールや  
基本政策に興味  
がある方は  
ぜひアクセスを



itoyuu.tokyo

伊藤ゆう 検索

伊藤都議を「もっと知りたい」方はこちらへ!

LINE 公式アカウント

ぜひご登録ください!!

